
let's 転生！ プロローグ編

緋勇龍麻

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Let's 転生！ プロローグ編

【Nコード】

N3423Q

【作者名】

緋勇龍麻

【あらすじ】

本編は、このプロローグ編から分岐していきます。

主人公の設定集的なものも含んでおります。

転生が嫌いな方は、なのはの半クロスオーバー物も書くつもりなので、そちらを読んで頂けたら幸いです。それも嫌いな方はバックをオススメします

訂正提案はカモン！ですが、批判は無しの方向で。

一話

何だこれ

えーと……。

よし！とりあえず、状況確認しよう。

? 学校が終わる。

? バイトを終える。

? 家に帰る。

? 自室に入ろうとする。

? ロープを被り、ドでかい鎌を持った、どう考えても死神様ですあ
りがとうございましたな骸骨が居る。

OKOK。

？？？は大抵の人が送っているであろう、普通の日常だ。

変な儀式をした覚えは無いし、黒いノートを拾った記憶も無い。

では何故この骸骨が？

とりあえず話してみよう。

もしかしたら、対話の時は300年後では無く、今この瞬間なのか
もしれない。

4

「あー、すみません。どちら様でしょうか？」

「あら。分からない？」

どこからどう見ても、死神じゃない。」

いや、そんな見りやあ分かる。

再び、凝視する。

うん、どう見ても死とやだ。そんな見つめないで。」

死神が体をくねらせる

「ええい！骸骨がくねくね止めい！！」

他にツツコミたい所もあるけど

「そうね。おふぎは此処までにして…」

単刀直入に言うわ。天界でゼウス様に合って欲しいのよ。」

OK。死神が居る時点で、驚かんぞ。俺は。

だがしかし…

「何故？」

「知らないわよ、そんな事。ゼウス様に聞いてちょうだい。

それより、サツサと天界に行くわよ。」

そう言いつつ、死神に背を向ける形で椅子に俺を座らせ、背中に何かを書いていく。

「準備完了〜。じゃあ行くわよ！」

拒否権無しかい。

まあ、なる様にしかならんか。

そこでふと、部屋の隅にある姿見が目に入る。

そこに映っていたのは……

鎌を大きく振り上げた死神の姿だった。

そして、唾然としている俺の脳天に

死神は鎌を

「ぶうううるあああああ！！」

振り下ろした。

一話（後書き）

気付かれた方もいらっしやると思いますが、死神様は若本ボイスです（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3423q/>

let's 転生！ プロローグ編

2011年1月26日03時53分発行